

# 大豆営農情報（6月号）

令和6年6月13日  
福岡大城農業協同組合  
南筑後・久留米普及指導センター

大豆の収量向上には「適期播種」が重要です。播種準備は早めに取り掛かってください。耕起後に降雨にあうと、しばらくの間トラクタ作業ができなくなります。事前の耕起は行わず、荒起こしと播種を「組み作業」するか、「部分浅耕一工程播種」をしましょう。

## 1 ほ場の準備

### ○雑草対策

- ・播種前発生の雑草は、除草剤散布することで、しっかり防除します（裏面参照）。

### ○土づくり

- ・適正土壌pH6.0~6.5となるよう、土壌改良資材を投入します。
- ・地力低下の防止には、有機物の投入が必要です。麦わらは全量すき込みましょう。

### ○排水対策

- ・麦作時の周囲溝を排水溝に繋ぐなど、表面排水を徹底しましょう。
- ・麦作時に施工した弾丸暗渠は大豆作でもそのまま活用できるため、大豆播種前の新たな施工作業は不要です（過度の排水対策は、逆に夏季の乾燥害を助長します）。

### ○施肥

- ・基肥としてPK化成40号を30kg/10a施用します。

## 2 播種

○種子消毒として、以下の薬剤いずれかの剤を使用します。

薬剤名	処理量/種子 10kg	備考
クルーザーMAXX	80ml	茎疫病*、ハト害、紫斑病
キヒゲンR-2フロアブル	200ml	ハト害、紫斑病

※茎疫病は、水を介して蔓延する糸状菌（かび）の一種によって起こり、大雨後の出芽不良、萎凋・立枯れの原因になります。茎疫病対策として、排水不良田や梅雨の合間の播種には、クルーザーMAXXが効果的です。

### ○播種時期と播種量

播種時期	7月5~20日（適期播き）	7月下旬（遅播き）
播種量	3~4kg/10a	6~8kg/10a

### ○播種深度

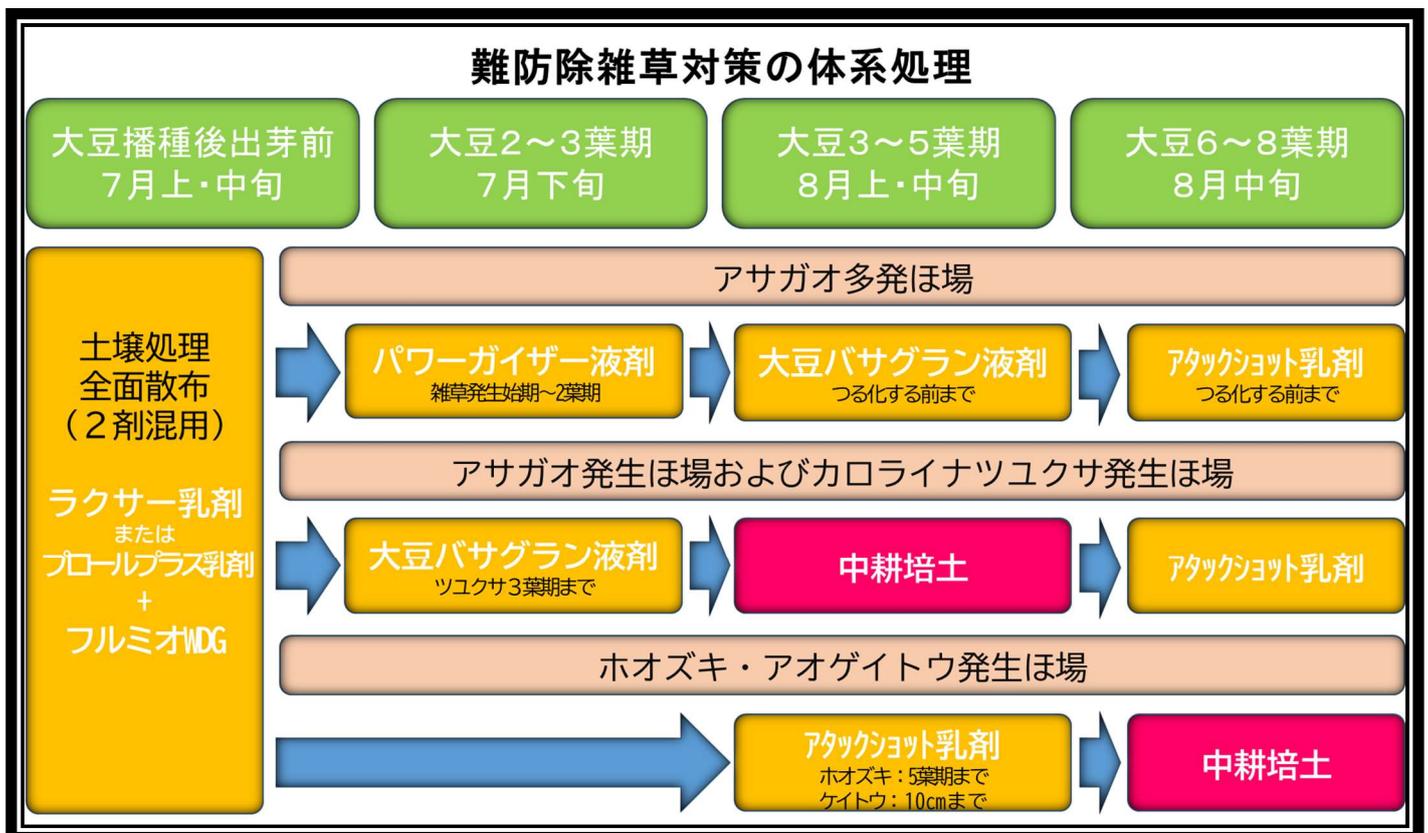
播種の深さの目安は3cmとし、土壌の水分状態に応じて調整し、土が乾燥している場合はやや深め（5cm程度）とします。

### ○乾燥対策

- 大豆出芽後は、ほ場内の土壌水分の維持のために、暗渠栓を閉めましょう。

### 3 雑草防除

使用時期	薬剤名	使用量/10a	希釈水量/10a	備考
耕起前	ラウンドアップ マックスロード	200~500mL	50~100L	100倍液が効果高い
			少量散布 5~50L	少量散布用ノズルを使用
	バスタ液剤	300~500mL	100~150L	ツククサ多発ほ場
播種後 ~出芽前まで	ラクサー粒剤	4~8kg	—	いずれかの剤を使用
	ラクサー乳剤	400~800mL	100L	<b>ホオズキ対策</b> フルミオWDGを 5~10g/10a混用 散布し、使用後は専 用洗浄剤で十分洗浄 する
	プロールプラス乳剤 ※イネ科雑草多発ほ場	400~600mL	100L	
出芽直前~ 大豆3葉期まで	パワーガイザー液剤	200~300mL	100L	



**【農薬使用上の注意】** ①散布前に必ず農薬ラベルの登録内容等を確認！ ②散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！ ③散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！ ④防除履歴の正確な記帳！